

News Release

2014年2月6日

報道関係者各位

イーソル株式会社

イーソル、スマートアグリ市場向けにクラウド技術を利用した環境データ管理システム 「eSOLAGRIInk シリーズ」を開発

～ハンディターミナル開発で培った耐環境技術を駆使し、農業生産現場への ICT 技術導入を支援～



CO₂ コントローラ「AGRIInk - CO2CON」

イーソル株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：長谷川 勝敏、以下イーソル）は、スマートアグリ市場向けに「eSOLAGRIInk（イーソル アグリリンク）シリーズ」を開発・販売し、農業生産現場への ICT（情報通信技術）導入と生産性および競争力向上の支援を開始したことを発表します。その第一弾として、CO₂ コントローラ「AGRIInk - CO2CON（アグリリンク コニコン）」および農場監視システム「AGRIInk - Server（アグリリンク サーバ）」を販売します。屋内外の過酷な環境下でも利用されるこの eSOLAGRIInk シリーズには、イーソルが長年にわたり冷凍倉庫向けハンディターミナルなどのハードウェア開発で培った耐環境技術が生かされています。今後イーソルは、生産管理システムや施設内設備の遠隔操作が可能な通信制御機器などのスマートアグリ市場向け製品の開発に加え、これらの技術を応用した気象データや放射線データ、施設などの監視システム開発も行っていく予定です。

近年、農業生産現場における環境計測と計測データの活用に対する需要が高まり、ICT の活用が加速化しています。生産現場では、温度・湿度などの環境データの自動収集や農産物の生育に適した環境維持、農作物の安定的な収穫が求められており、これらを容易に実現する手法としてスマートアグリが期待されています。さらに、複数のユーザによる収集データの管理・閲覧をリアルタイムで行えるシステムの必要性が増し、生産現場においてクラウド技術や「IoT（Internet of Things＝モノのインターネット）」といった ICT は、今後ますます重要になってきます。eSOL AGRIInk シリーズは、ハードウェアとソフトウェアをトータルシステムとして提供し、ユーザのスマートアグリ導入を強力にサポートします。

AGRIInk - CO2CON は、ビニールハウスなどの施設で使われる二酸化炭素（以下 CO₂）を発生させる炭酸ガス発生機の自動制御と、施設内の CO₂ 濃度および温度の記録を 1 台で実現できる CO₂ コントローラです。CO₂ 濃度の最適な状態維持と無駄な CO₂ 生成の抑止により、さまざまな施設園芸栽培の生産性向上とコスト低減に貢献します。AGRIInk - CO2CON は以下の特長を備えています。

- リレー出力を 2 系統備え、炭酸ガス発生機を 2 台同時に稼働させることが可能。また、1 系統は炭酸ガス発生機に接続、もう 1 系統は循環扇に接続し CO₂ を効率的に循環させる運用にも対応。
- 炭酸ガス発生機の稼働を停止させる温度を設定できるため、施設内の温度上昇により換気のために天窓等が開放された場合でも、無駄な CO₂ 発生を抑えてコスト低減。
- ファンの採用により本体への効率的な CO₂ の取り込みおよび計測が可能で、施設内の CO₂ 濃度に素早く反応し炭酸ガス発生機を最適な状態に制御。

- SD カード（別売）挿入により、15 分間隔で CO₂ 濃度およびハウス内の温度を記録。

AGRInk - Server は、温度や湿度、日射量などの環境データを測定する装置と、クラウドサーバ上に蓄積されたデータの閲覧・分析などを管理するソフトウェアを統合化したシステムです。2014 年第 2 四半期に販売開始を予定しています。イーソルはこれまで、-30℃の冷凍倉庫で使用できる完全結露対策・完全防水設計のハンディターミナル「eSOL Geminus（イーソル ジェミナス） PS-9020」など、耐環境に優れた製品を開発・販売し、食肉業界やアイス卸業界などの冷蔵・冷凍倉庫で多数採用されています。採用実績が実証する耐環境技術を、AGRInk - Server の環境測定装置にも取り入れ、屋内外の過酷な環境下での長期間計測に耐え得る設計となっています。AGRInk - Server の特長は以下です。

- 環境測定装置は、水や埃、農薬、高温など屋内外の過酷な環境下での使用を想定した防水・防塵設計。電源は AC アダプタ以外に、ソーラーパネルおよびバッテリーを採用し、電源を引くことのできない屋外での稼働も実現。
- 標準で内蔵されている温度、湿度、日射量測定センサー以外に、pH、EC、土壤水分センサーや IP カメラなどをオプションで取り付け可能。
- 測定データは、Wi-Fi や 3G 通信回線を使用してクラウドサーバや遠隔地のサーバへの蓄積が可能。通信切断時に備え、環境測定装置本体の SD カード（別売）などメディアへのデータ保存ができ、測定データの欠落を最小限に抑制。
- 環境測定装置のセンサー値を予め設定することで、接続した外部機器の電源 ON/OFF やメールの自動送信が可能。
- 測定データの閲覧・管理などができる、専用のデータ確認用ソフトウェア（ライト版）が標準付属。

イーソル株式会社 取締役 ロジスティクスエンジニアリング事業部長 山田 光信 のコメント

「いわゆる「アベノミクス」の日本経済成長戦略のひとつとして農産物の輸出増加の方針を国が打ち出すなど、農産物の生産量の増加と品質の確保が農業市場に求められています。一方で農業分野におけるコストダウンは避けて通ることができません。安定的かつ効率的な生産の確保には、さまざまな環境データの計測と計測データの有効活用が重要です。イーソルは、eSOL AGRInk シリーズの提供により、生産現場のスマートアグリ導入を低コストで実現できるよう貢献してまいります。」

■補足資料

eSOL Geminus PS-9020 について

-30℃の冷凍倉庫でも使える完全結露対策・完全防水設計の耐環境性能に優れた、業界初の曲がるバーコードスキャナー一体型ハンディターミナルです。ディスプレイ部が曲がることで、作業環境や用途に合わせた角度に設定ができ、バーコードスキャン時の作業性が大幅に向上します。また、バーコードスキャナは、一次元スキャナ・二次元スキャナ・ロングレンジスキャナが選択できます。無線 LAN および Bluetooth 搭載で、スキャンしたデータのリアルタイムな送受信も可能です。常温用のハンディターミナル「eSOL Geminus PS-8020」もご用意しています。

▽「eSOL Geminus PS-9020」詳細：<http://www.esol.co.jp/logistics/ps9020.html>

イーソル株式会社について

イーソル株式会社は「Inside Solution」をブランドスローガンに、1975 年の創業以来、組込みソフトウェア業界、および流通・物流業界で実績を重ねて参りました。ユビキタス社会を内側から支える技術者集団として、お客様の満足を第一に、開発、販売からサポートまで一貫したサービス、そしてトータルソリューションを提供しております。弊社は創業直後より 30 年以上にわたって、高信頼かつ高性能の組込み OS・開発環境・各種ミドルウェアを自社開発、販売し、デジタルカメラなどの情報家電製品から車載情報機器や人工衛星システムにいたるまで、数多くの組込みシステムに採用いただいています。さらに、顧客様のシステムに特化した組込みアプリケーション開発やコンサルテーションも創業時より行っており、これら様々な規模のシステム開発実績による技術とノウハウの蓄積を背景としたサービスは、多くの顧客企業様より高いご信頼をいただいております。また、組込み技術の応用市場としての流通・物流業界においても、指定伝票発行用車載プリンタ、耐環境ハンディターミナル、冷凍庫ハンディターミナルなどの製品企画および販売を行い、高い評価をいただいております。

*記載された社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

 イーソル株式会社 ロジスティクスエンジニアリング事業部
Tel : 03-5302-0670 e-mail : le_mail_toiawase_12@esol.co.jp
URL : <http://www.esol.co.jp/>